

【伝える 私の戦後70年】博多大丸・戸上雅雄元専務 (1)

2015年02月26日 03時00分 更新

記者：仲山美葵

九州最大の商業都市、福岡市で繰り広げられてきた流通戦争。その挑戦者は時代をどう捉え、向き合ってきたのか。経営者の戦後70年を振り返るシリーズの第2弾として、博多大丸（福岡市）専務などを務めた戸上雅雄氏（80）に聞いた。（この連載は仲山美葵が担当します）

■負けん気 水泳で培う

「帰らない」。そう言って風呂場で泣いたのを覚えています。1940年、5歳の時。日本の小学校に入るため、生まれ育った満州（現中国東北部）から日本へ、お手伝いさんと一緒に返されることになりました。韓国・釜山までの車窓の景色は真っ暗でした。

父は満州で料亭を経営していました。私は7人きょうだいの5番目。大きな家で、芸者さんがいて、銭湯みたいな風呂があって、とても華やかでした。関東軍の将校だけを相手にした料亭で、相当もうかったようです。父は商才があったんでしょう。

私は先に日本に行っていた兄たちと、福岡県三潴町（現久留米市）の祖父母に育てられました。田植えの時期は毎日、夜明け前から兄と水車（みずぐるま）を踏んで田んぼに水をくみ上げました。戦況が悪化してからは学校にほとんど行っていません。福岡や北九州の方に飛んでいく米軍の爆撃機B29を見ながら勤労奉仕の農作業。生活は恵まれた方でしたが、親に甘えられないのはつらかったですね。

終戦は小学5年生の時。玉音放送は近所の

戸上雅雄氏と福岡市内の流通の歩み

	1935年	満州で戸上雅雄氏誕生
太平洋戦争開戦	1941年	国民学校初等科入学
終戦	1945年	
朝鮮戦争	1950年	福岡県立三潴高校入学
	1952年	ヘルシンキ五輪最終選考落選
博多大丸が呉服町に開業	1953年	日本大学入学
	1954年	第2回アジア大会 200m平泳ぎ銅メダル
	1957年	博多大丸入社
博多駅移転	1963年	
博多井筒屋が博多駅に開業	1966年	博多大丸労働組合委員長就任
福岡ショッピングプラザ開業	1971年	
第1次石油ショック	1973年	
山陽新幹線が博多まで延伸	1975年	博多大丸が天神に移転
天神コア、天神地下街、岩田屋新館開業	1976年	
福岡市営地下鉄開通	1981年	
	1984年	博多大丸にシャネル九州初出店
ソラリアプラザ、イムズ開業	1989年	博多大丸専務就任
消費税導入		
株価急落、バブル崩壊へ	1991年	
キャナルシティ博多、岩田屋Zサイド開業	1996年	
福岡三越開業	1997年	博多大丸東館エルガーラ開業 大丸取締役就任
博多リブレイン開業	1999年	八重洲地下街専務就任
福岡玉屋閉店		
	2000年	井筒屋専務就任
	2003年	博多井筒屋社長就任
岩田屋本館移転	2004年	
	2007年	博多井筒屋閉店
岩田屋と福岡三越が経営統合	2010年	
博多阪急が入居するJR博多シティが開業	2011年	



戸上雅雄氏

大人たちと聞きました。日本が負けるなんて思ってもおらず、子どもながら複雑でした。

満州の両親と妹たちは無事に引き揚げることができました。母が近所の中国人に料亭の余り物を分けるなど付き合いをよくしていたからでしょう。大事に見送られたそうです。母は「人は大事にしとかんといかん」と言っていました。父母が戻って家も明るくなり、物こそなかったものの「これから何でもできる」。そんな気持ちでした。



日本大2年の時、第2回アジア大会に出場するためフィリピン・マニラに向かう戸上雅雄氏(左) = 1954年、羽田空港

泳ぎが速かったので、三潯高で水泳部に入りました。昔は「泳げ、泳げ」で、ペースが落ちるとむちみたいなもので打たれる体力勝負の練習。冬場は湧き水がある熊本市の水前寺公園や温泉のある大分県別府市で泳ぎました。やれば結果が付いてきた。のめり込んで行きました。

高校3年でヘルシンキ五輪の候補に選ばれ、その合宿でお会いしたのが国民的英雄だった「フジヤマのトビウオ」の故古橋広之進選手でした。古橋さんに直接掛けてもらった「魚になれ」という言葉は、強く胸に響きました。魚になるくらい練習しろ、と。

その後、最終選考には漏れるわ、家業の倒産で「進学を諦めろ」と言われるわで、本当に落ち込みました。しかし特待生として日本大に入学。第2回アジア大会の200メートル平泳ぎで銅メダルを取ることができました。体の基礎は水車で、負けん気と忍耐力は水泳で培ったものです。

就職先は迷いましたね。スポーツ選手は好待遇で、大企業もいくつか紹介してもらいました。でも私は新しい会社で挑戦したかった。水泳しかしていなくても頑張れば何とかなるんじゃないか。それで先輩の紹介で、設立5年目の博多大丸に就職したわけです。

魚になれー。普通では駄目だ。他の人にできないようなことをやれ。会社勤めでも、どうすれば勝てるか、そんなことばかり考えていました。

<http://qbiz.jp/article/96602/1/>